



大村紙業株式会社

東証スタンダード：3953



2024年3月期第2四半期決算説明資料

2023年12月

目次

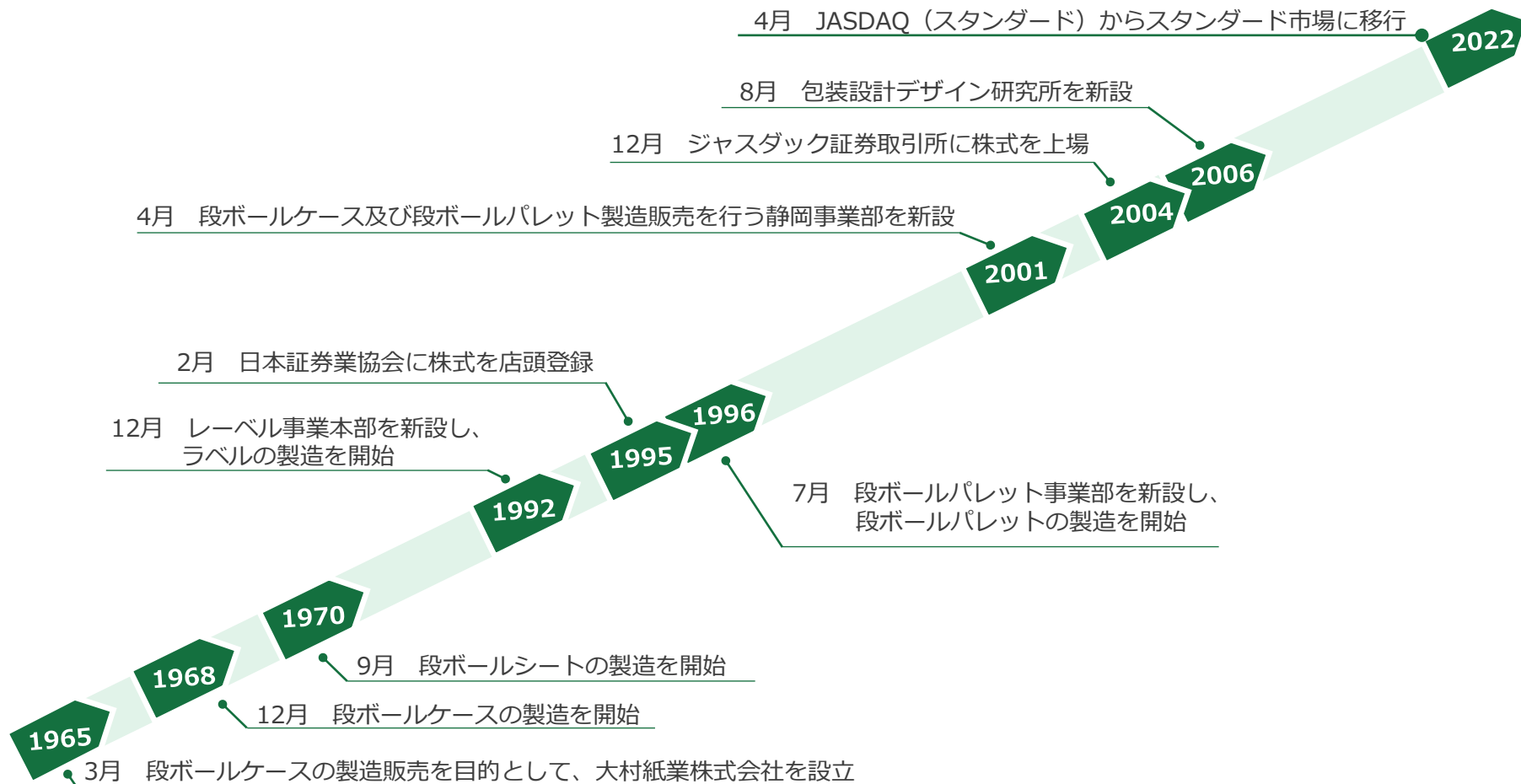
1. 事業概要・特長
2. 2024年3月期第2四半期決算の概要
3. 2024年3月期業績予想の概要
4. 今後の成長戦略

1 事業概要・特長

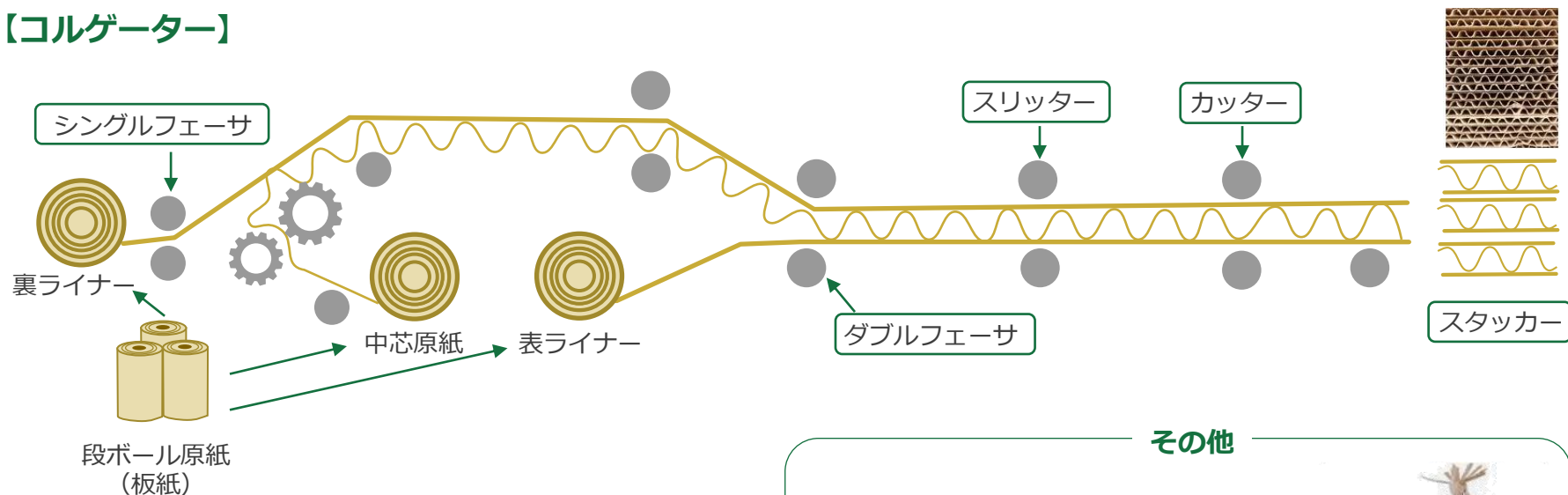
商号	大村紙業株式会社
本社所在地	神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
設立	1965年3月17日
代表者	代表取締役社長 牧山光人
資本金	554百万円
発行済株式数	3,561,676株
決算期	3月末
従業員数	210名（他 平均臨時雇用者数：28名）
事業内容	段ボール製品（シート・ケース・段ボールパレット）の製造販売、ラベル製品の製造販売、 段ボールラベルのデザイン、ディスプレイ関係の請負
国内拠点	事業部：湘南事業部、東北事業部、大阪事業部、栃木事業部、静岡事業部、三重事業部、茨城事業部、 仙台事業部、京都事業部、レーベル栃木事業部、埼玉事業部、千葉事業部、レーベル埼玉事業部 営業所：会津営業所、レーベル湘南営業所 本社内：包装設計デザイン研究所

VISION

再生紙の利用、環境保護への配慮、国際化への対応を的確に図りながら、量から質への転換と研究・開発、段ボール周辺の事業を中心に迅速に推し進めてまいります。



【コルゲーター】



段ボールシート



段ボールケース

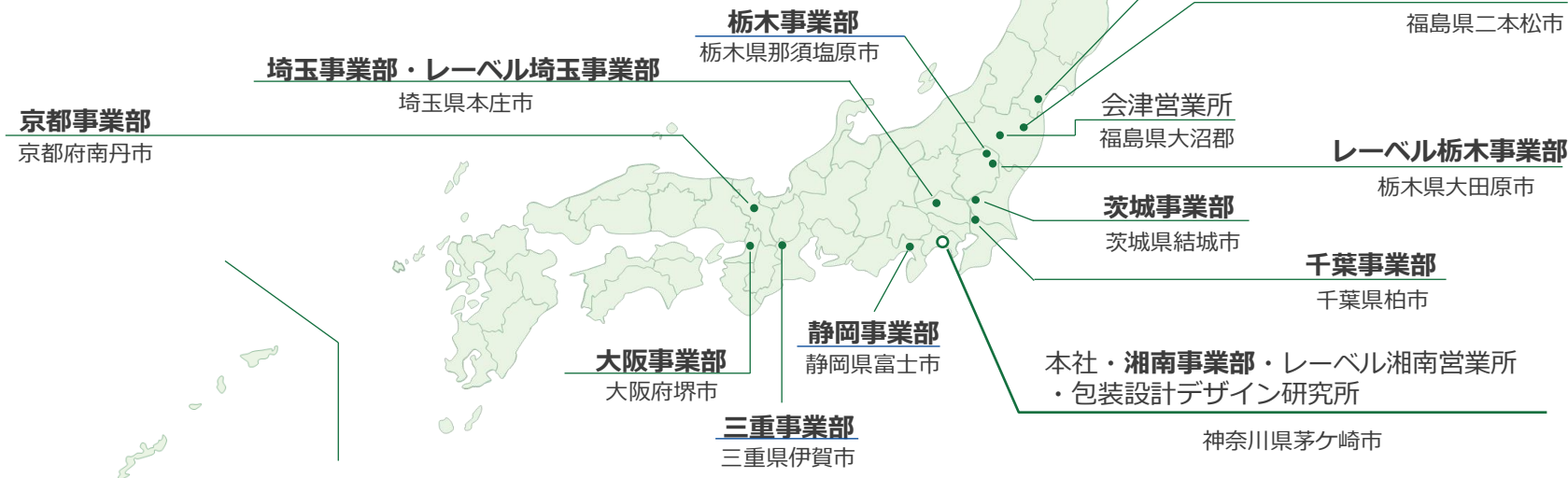


その他

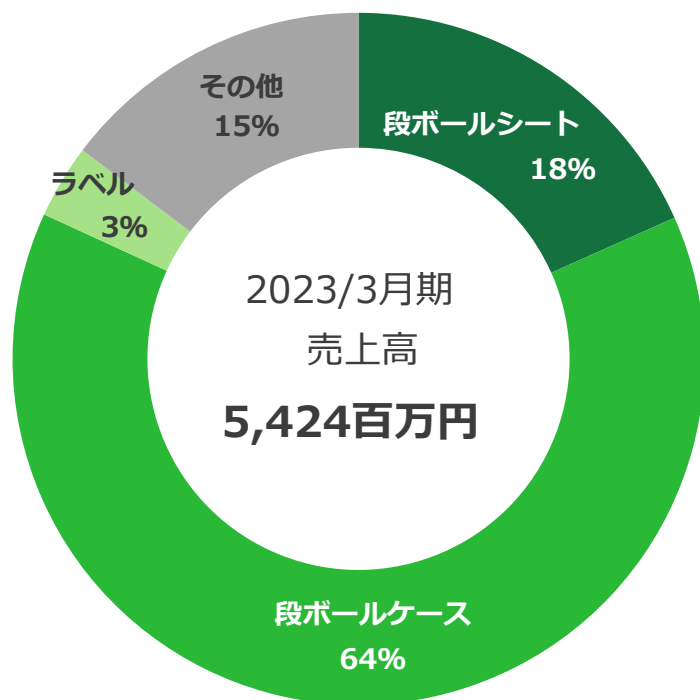


地域に密着した生産・サービス拠点

- ✓ 輸送コストの低減と迅速なサービスの提供のために、地域ごとに生産・サービス拠点を設置
- ✓ 自社配送システムの構築を図りながら、生産から仕入れ、販売に至るまでの新しい業務形態、新しい経営方法を取り入れ、柔軟な組織づくりを推進
- ✓ 小さな本社と自動化した小ロット対応型の工場を全国に展開



【品目別売上高占率】



段ボールシート

段ボールシートは、波形に形成された中芯とその中芯を保持するために接着剤で貼合わされたライナーという原紙で構成



段ボールケース

印刷、型抜き、糊づけ、製函の工程を経て段ボール製品として完成



ラベル

工業用ラベルから、食品用ラベルまで、小ロットから柔軟に対応



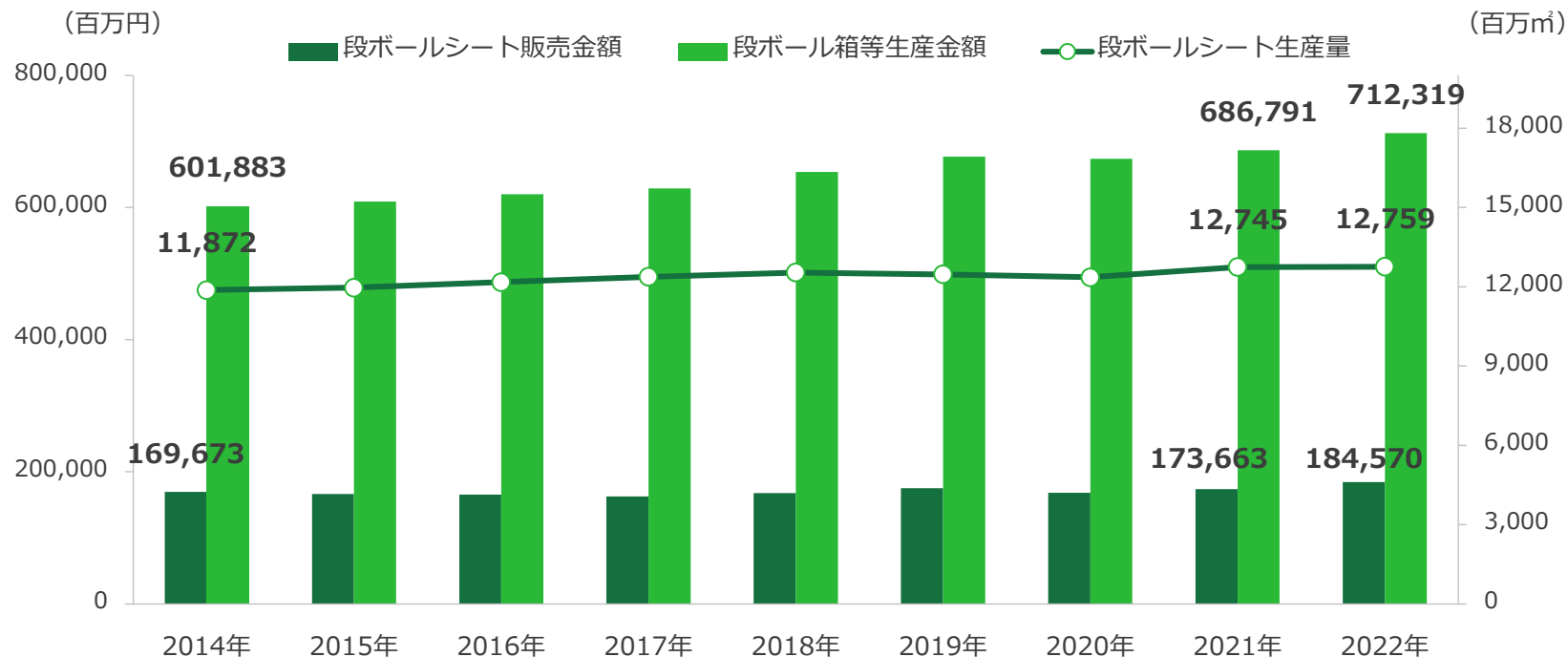
その他

段ボールパレットなど包装資材

段ボールの市場動向

段ボールシートの販売金額、生産量は概ね横ばいで推移も2020年以降微増傾向。
段ボール箱等の生産金額は微増傾向で推移

【段ボールシート販売金額・生産量、段ボール箱等生産金額推移】



経済産業省生産動態統計より当社作成

小ロット、多品種生産、短納期対応のサービス、きめ細かな納品対応力と自社物流体制

マーケティングからお客様を強力サポート

— マーケティング・デザイン・包装設計段階から企画・ご提案し、ノウハウを活かしたサービスを提供

一品種ごとのオーダーメイドに対応

— 撥水性・防湿性に優れた耐水段ボールや蒸散作用を適度に抑制した製品、保温に優れたスタイロ段ボールなど特殊加工、機能製品に至るまで、多彩な製品を提供

全国各地の営業ネットワーク

— 輸送コストの低減と迅速なサービスの提供のため、地域ごとに生産・サービス拠点を設置。自社配送システムを構築

徹底した品質管理による品質保証システム

— JIS規格、ISO9001：2000等、各種認定を取得。原材料の受け入れから、段ボールシート、段ボールケースの製造に至るまで、総合的な品質保証システムを確立

リサイクルの推進

— 古紙を利用した新製品の開発、リサイクルの推進（段ボール→古紙→再び段ボール）への積極的な取り組み

2 2024年3月期第2四半期決算の概要

売上高は前年同期比6.3%増収、経常利益は4.4%、四半期純利益は3.8%増益で推移

1.当2Q累計の売上高は、2,806百万円（前年同期比6.3%増：167百万円増加）

- （1）当2Q累計の段ボールシートの売上高は、507百万円（前年同期比3.5%増：17百万円増加）
- （2）当2Q累計の段ボールケースの売上高は、1,811百万円（前年同期比8.9%増：148百万円増加）
- （3）当2Q累計のラベルの売上高は、90百万円（前年同期比3.2%減：3百万円減少）
- （4）当2Q累計のその他の売上高は、397百万円（前年同期比1.3%増：5百万円増加）

2.当2Q累計の営業利益は、171百万円（前年同期比1.9%増：4百万円増加）

3.当2Q累計の経常利益は、175百万円（前年同期比4.4%増：7百万円増加）

4.当2Q累計の四半期純利益は、115百万円（前年同期比3.8%増：5百万円増加）

事業環境面で物流業界での物量が減少傾向となる中、生産量は前年同期比微減も、販売価格の改定の効果もあり、各段階利益は増益で推移

(百万円、%)

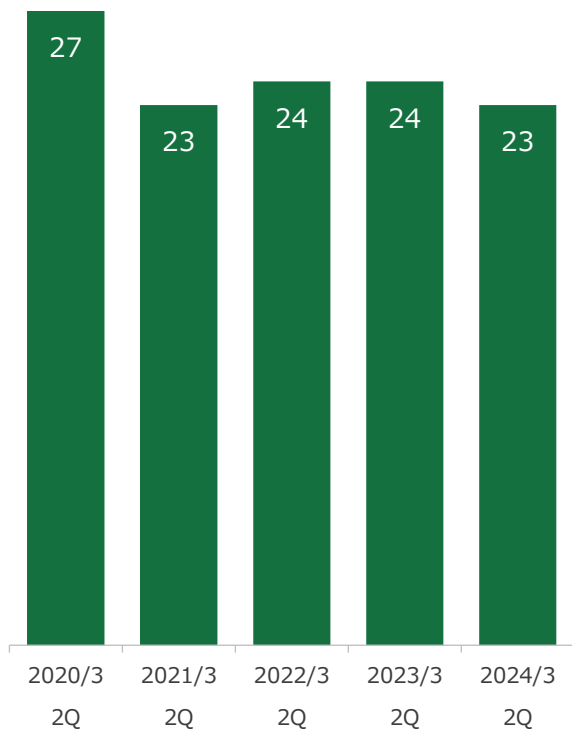
	2023/3期 2Q実績		2024/3期2Q				
			期初予想		実績		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	2,639	100.0	3,020	100.0	2,806	100.0	6.3
営業利益	167	6.4	172	5.7	171	6.1	1.9
経常利益	168	6.4	174	5.8	175	6.2	4.4
四半期純利益	110	4.2	121	4.0	115	4.1	3.8

品目別生産量実績

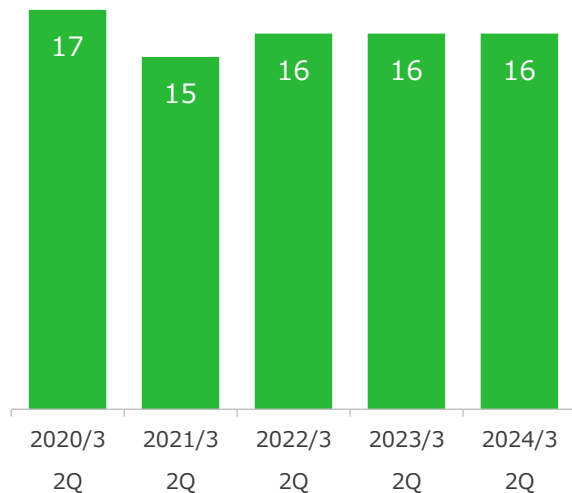
段ボールシートと段ボールケースの生産量は概ね横ばいで推移
ラベルは、新規取引先の開拓による受注増加に伴い増加傾向

(百万㎡、通)

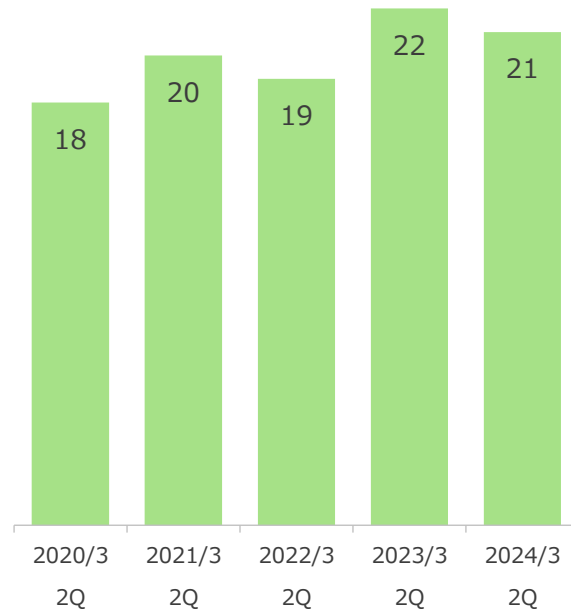
【段ボールシート】



【段ボールケース】



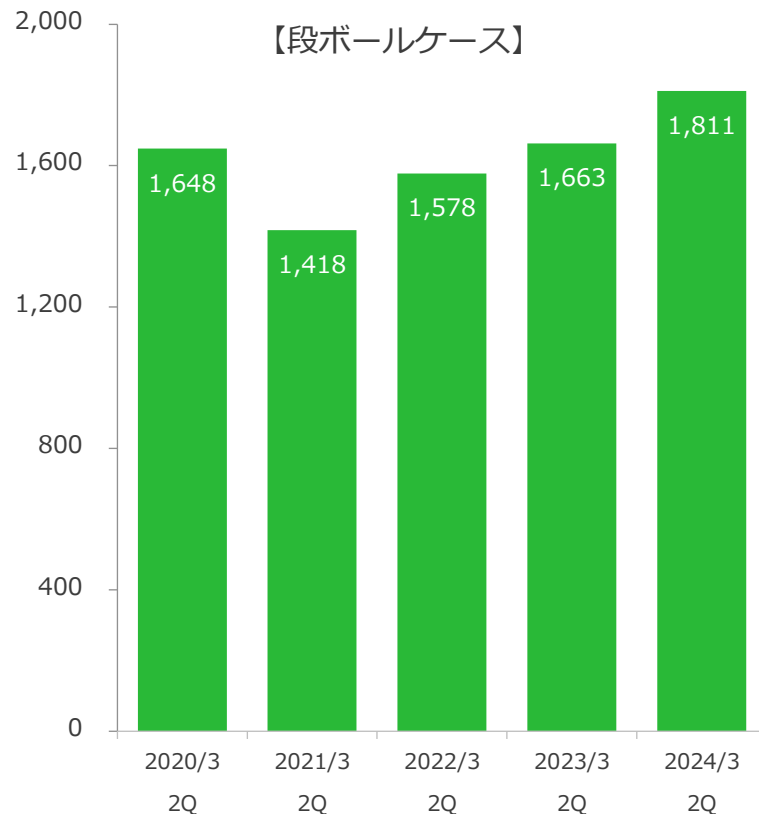
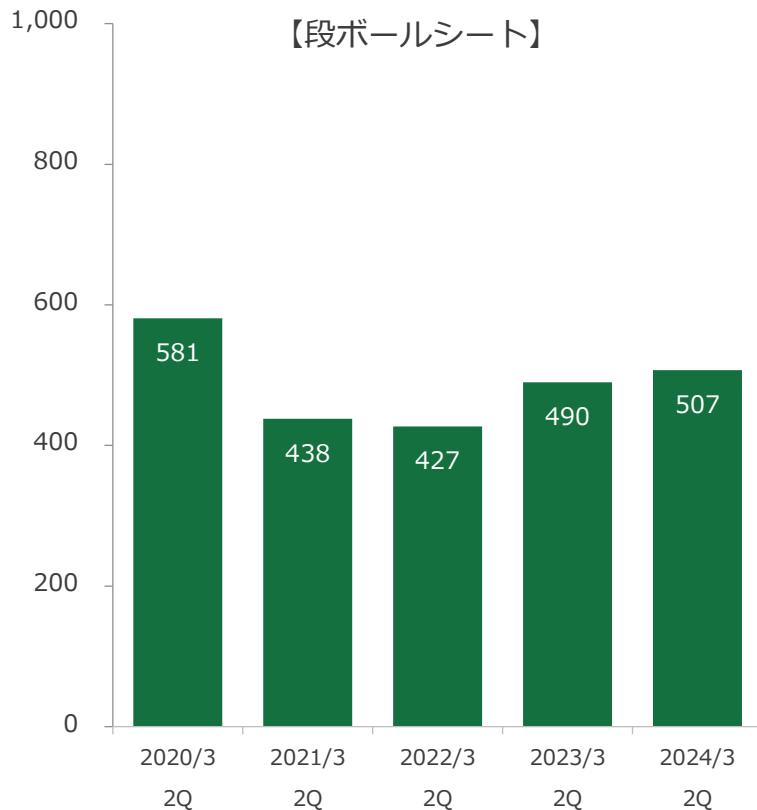
【ラベル】



品目別販売実績①

段ボールシート、段ボールケースともに、売上高は、コロナ禍の影響により低下も足元回復傾向

(百万円)

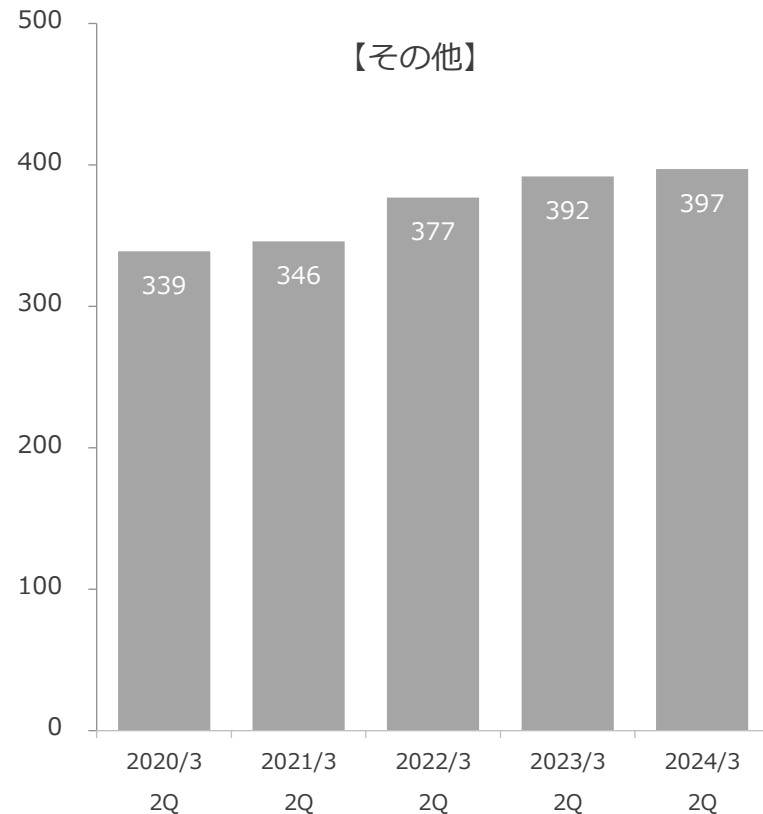
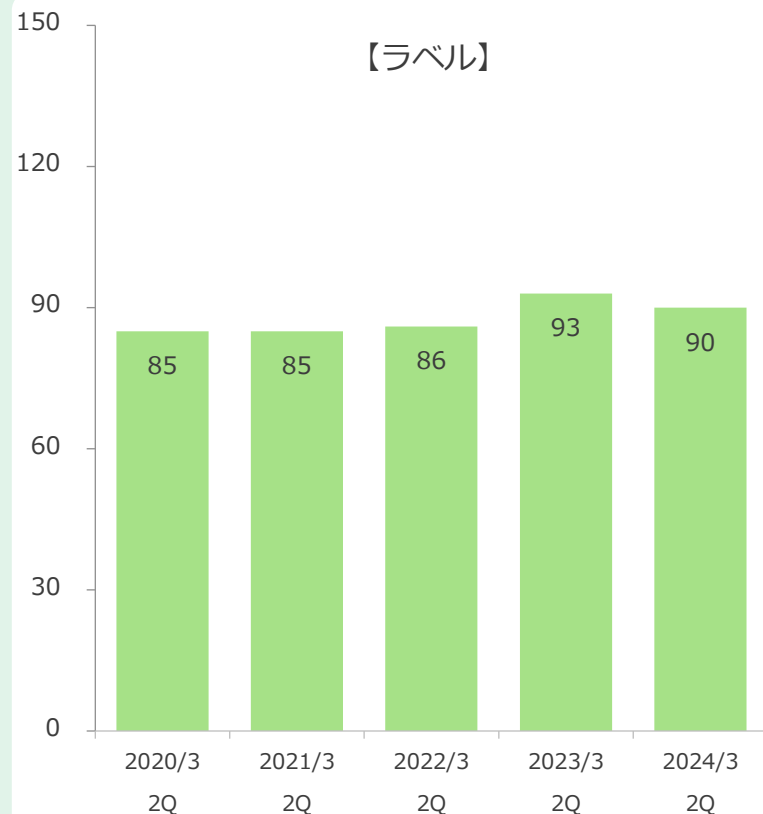


品目別販売実績②

ラベルは新規取引先の開拓による生産量増加に伴い増収基調

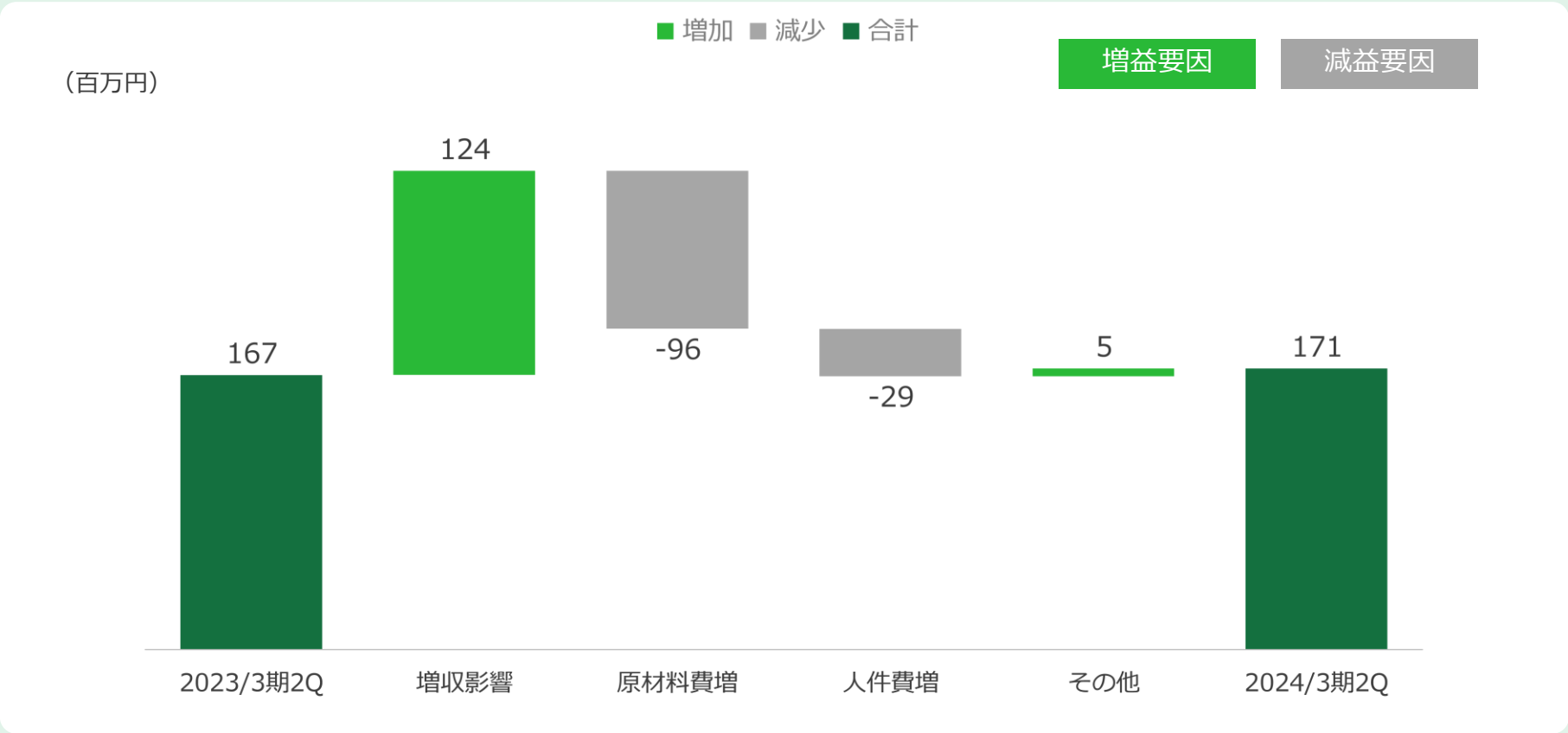
その他の売上高は、段ボール素材の新たな用途向けの新製品開発等により増加傾向

(百万円)

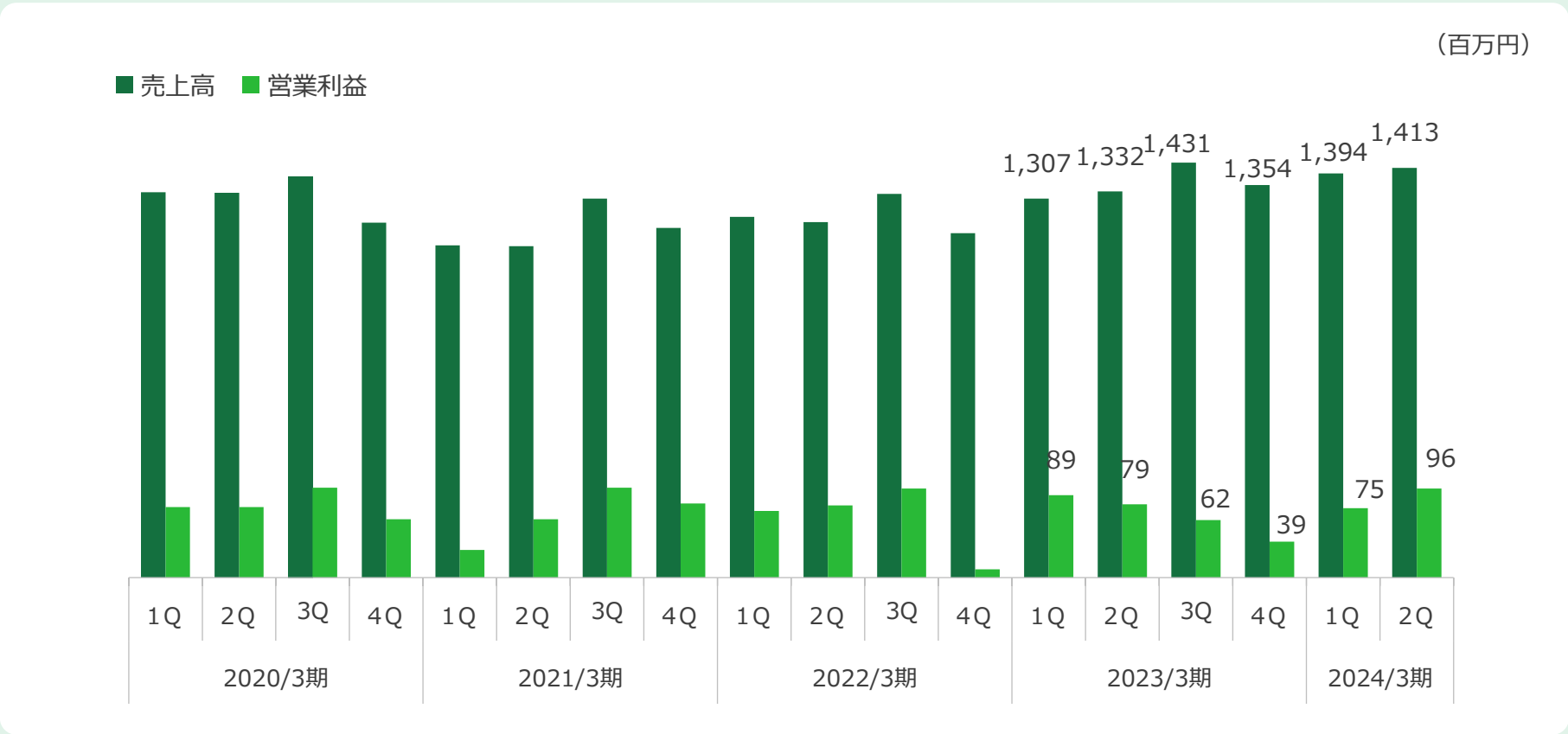


営業利益増減要因

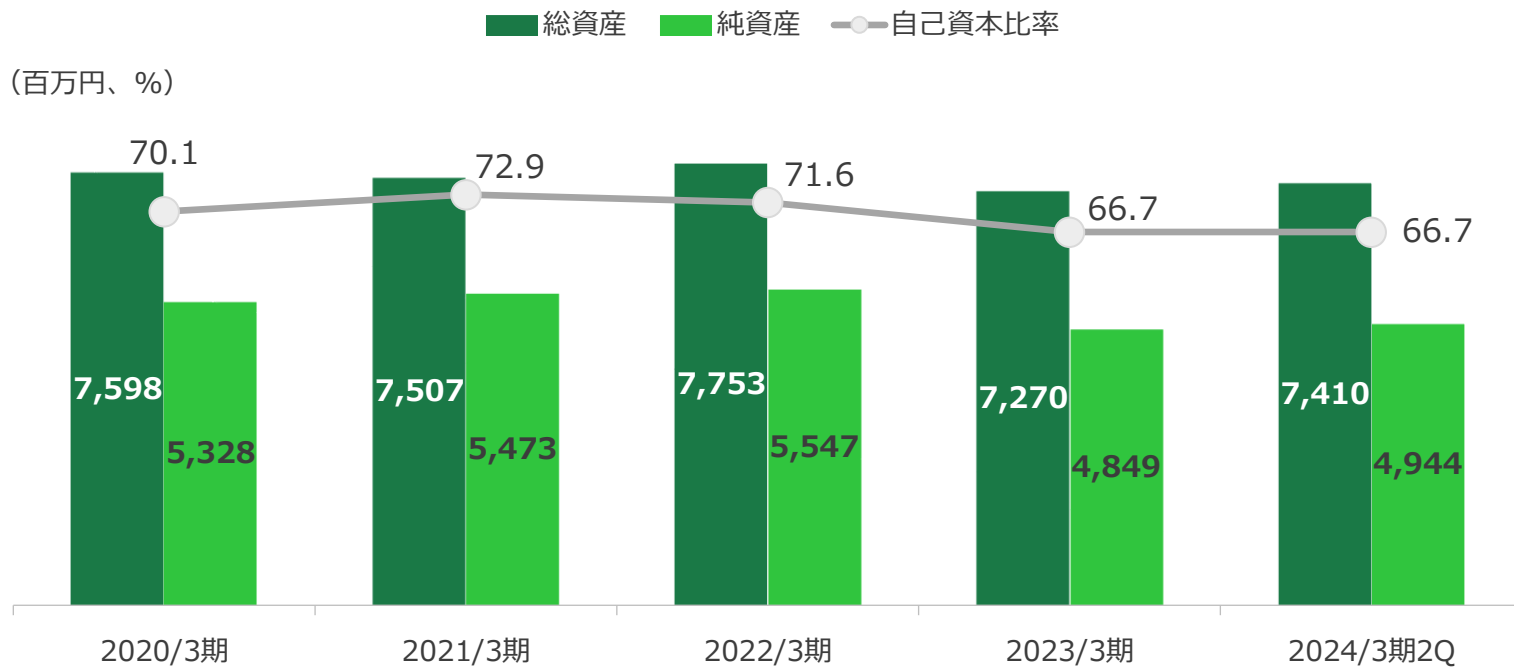
原材料費、人件費および配送費の増加分を、増収影響で吸収し、営業利益は増益で推移



売上高・営業利益とも、農産品や年末に向けた物量サイクルの季節性の影響により、2Q・3Qが増加、4Qが低くなる傾向



自己資本比率は、70%前後で推移。強固な財務体質を維持

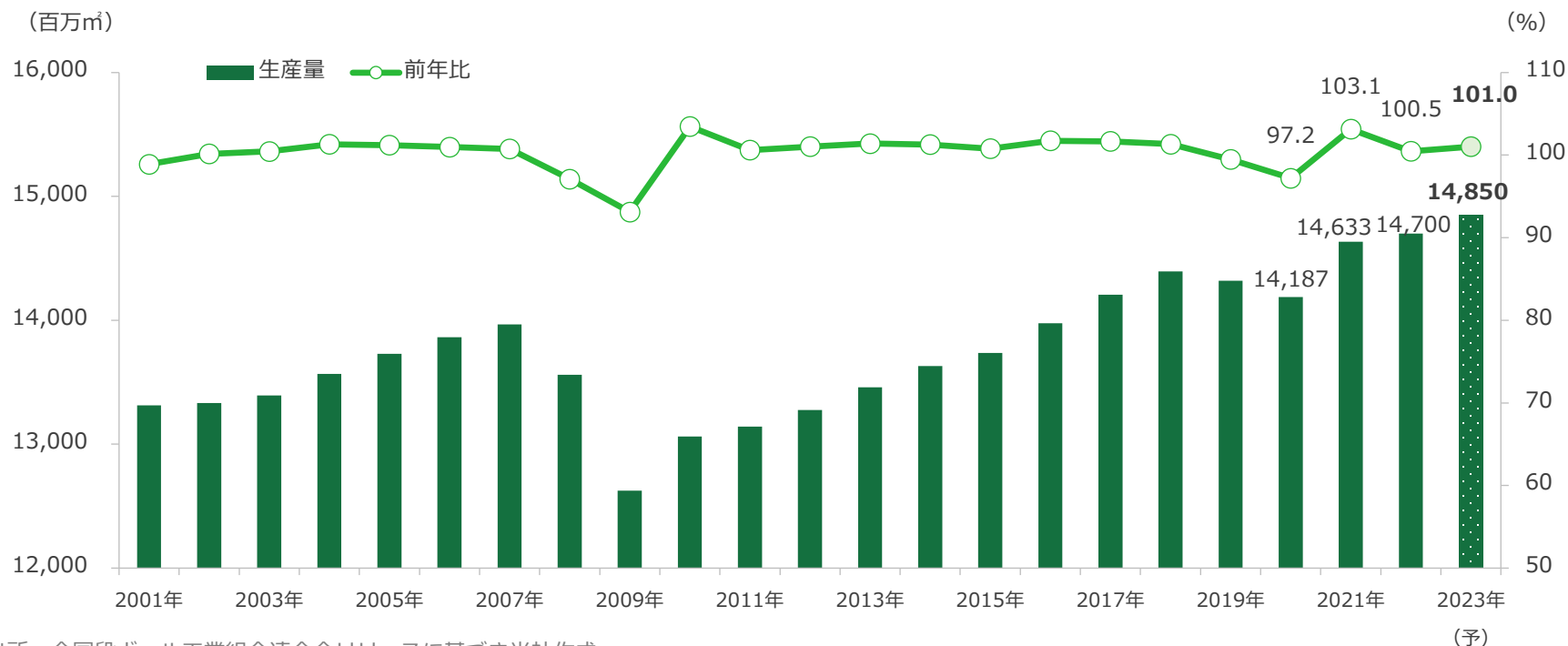


3 2024年3月期業績予想の概要

段ボールの需要予測（2023年）

行動制限の撤廃による外出機会の増加、水際対策の緩和による外国人旅行者の増加等により、飲料や業務用加工食品の回復を見込み、2023年の段ボール需要を 14,850百万㎡（前年比101.0%）と予測

【段ボール生産量推移】



出所：全国段ボール工業組合連合会リリースに基づき当社作成

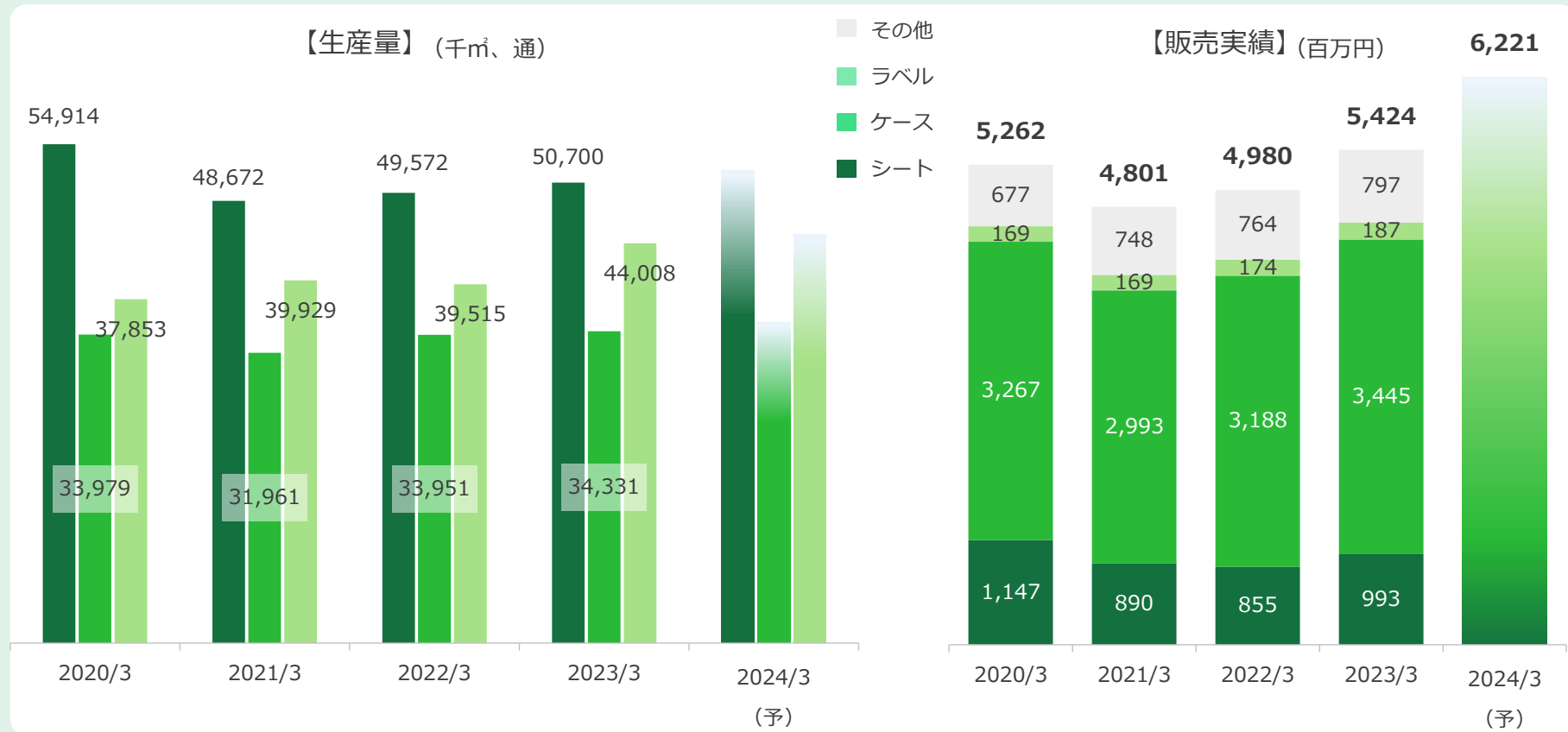
売上高は前期比14.7%増収、経常利益は10.8%増益、当期純利益は701.1%増益を予想

- 売上高は、多様な顧客ニーズに迅速に対応し、販売数量拡大を図る
- 経常利益は、価格改定とともに高付加価値製品への取り組み、生産効率、配送効率向上に取り組む
- 当期純利益は、前期の生産設備等の減損処理の反動により大幅増益を予想

(単位：百万円、%)	2023/3期 実績		2024/3期 予想			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	5,424	100.0	6,221	100.0	797	14.7
営業利益	268	5.0	301	4.8	33	12.2
経常利益	271	5.0	300	4.8	29	10.8
当期純利益	29	0.5	210	3.4	181	701.1

品目別生産量・販売金額推移

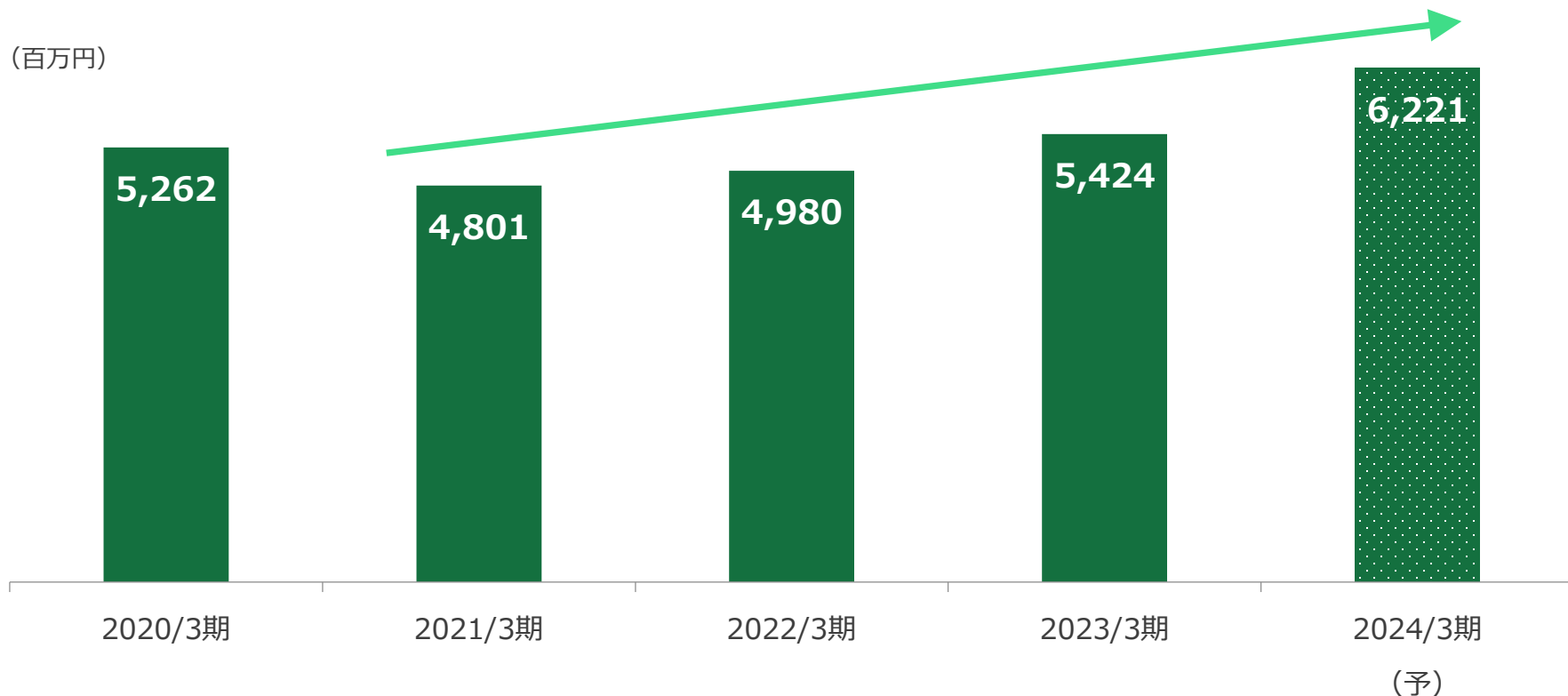
生産量は各品目ともに2021/3期以降、回復傾向
販売金額も同様に、各品目とも2021/3期以降、回復基調



売上高の推移

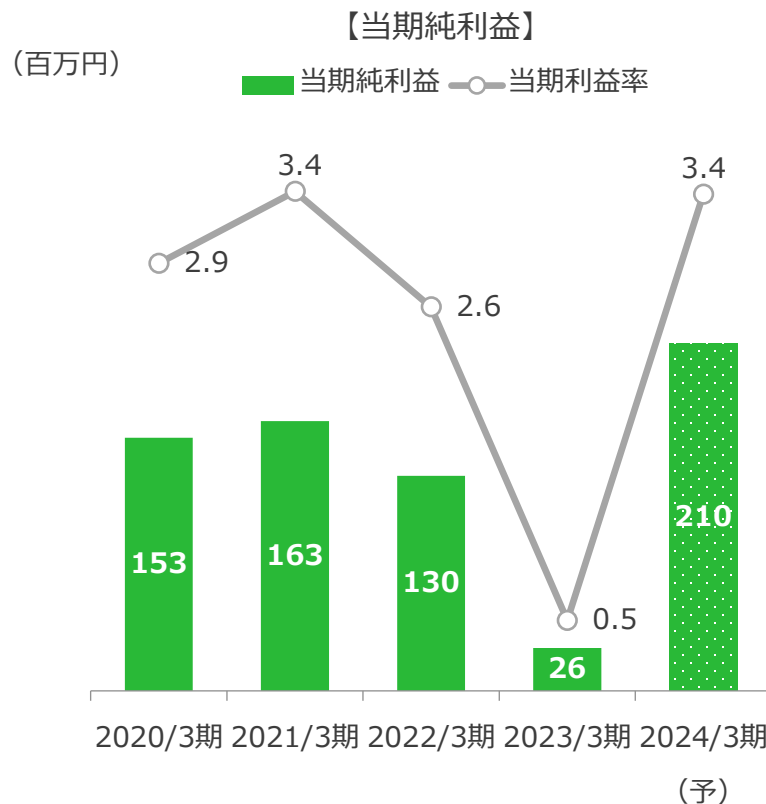
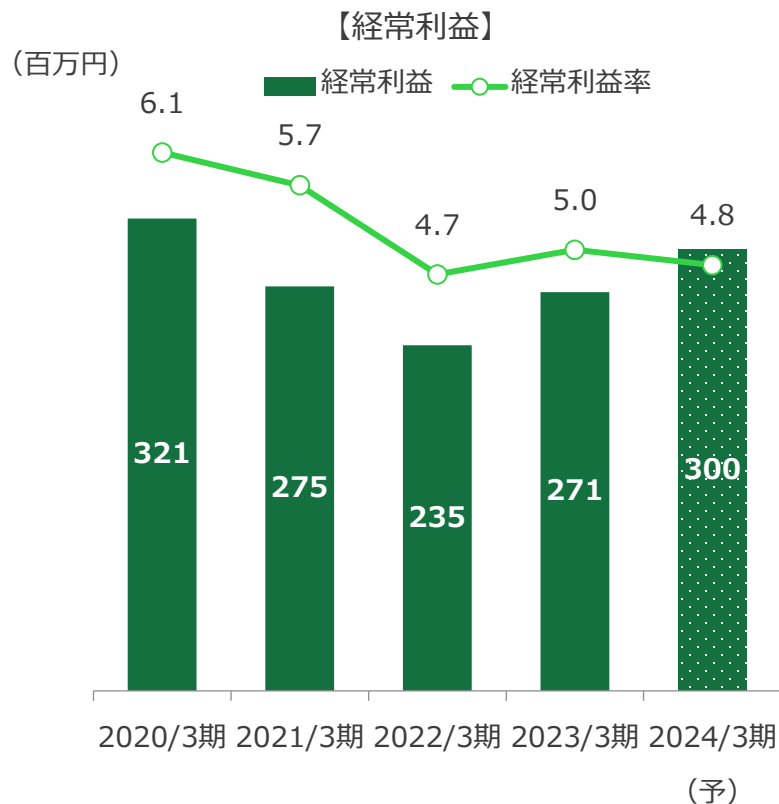
売上高は、コロナ禍後、物量増加に伴い回復基調

2024/3期は、販売数量増加とともに価格改定を織り込み、増収を予想



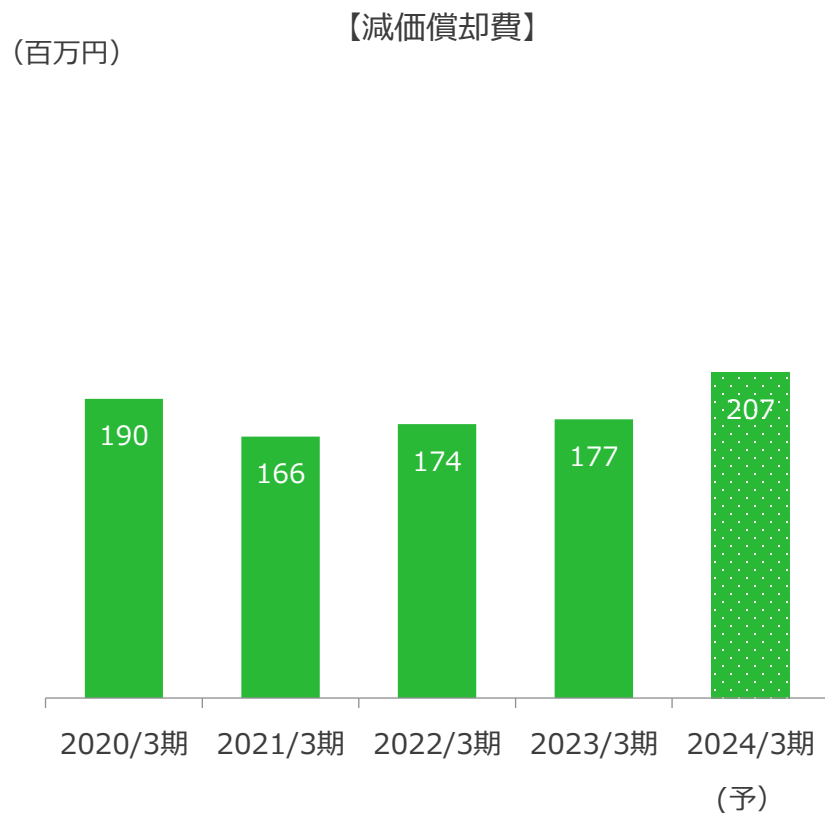
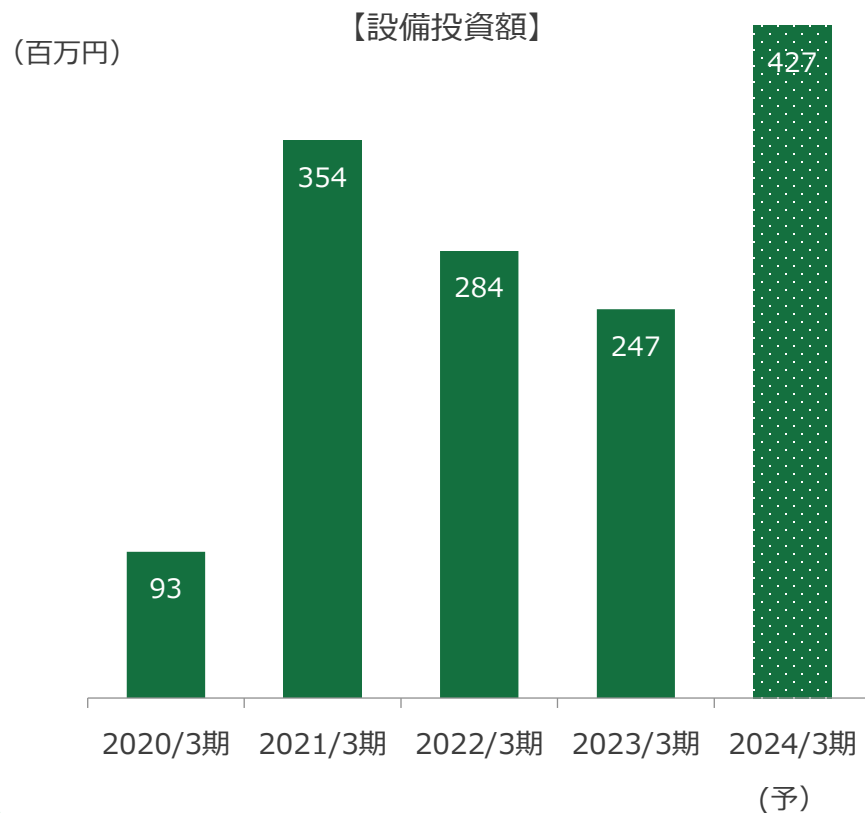
経常利益・当期純利益の推移

経常利益は、新型コロナウイルスの影響を受けていた2022/3期を底に増益基調
2023/3期は、製造設備の減損処理を行い当期純利益は減益、2024/3期は大幅増益を予想



設備投資額・減価償却費

2021/3期は前事業年度に延期した設備投資を実行、主にコルゲート部門の機械装置と車両運搬具の入替実施
2024/3期は、主にコルゲート及びケース部門の機械装置等の入替を計画。減価償却費は増加の見通し



安定的な
経営基盤の確立



安定配当の維持

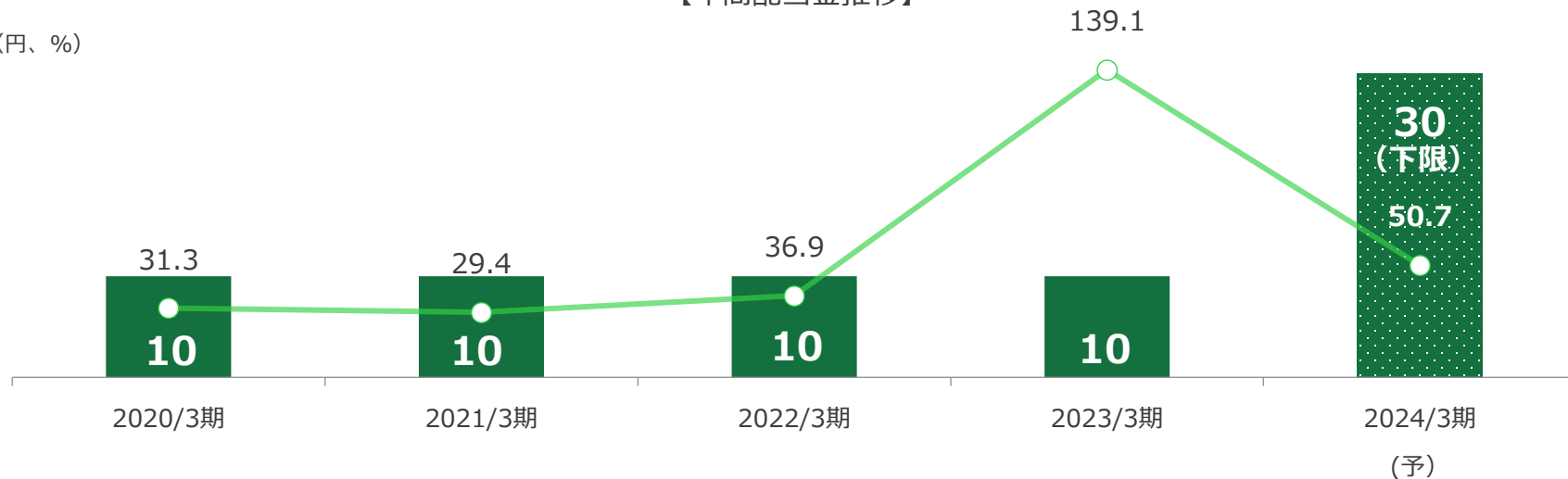


株主の皆様の期待に応える
利益還元を目指す

- 自己株式の消却：2022年9月に1,332,324株（消却前の発行済株式総数に対する割合 27.07%）を消却
- 株主還元方針変更及び配当予想修正：2023年11月に1株当たり年間配当金の下限30円とする基本方針に変更

【年間配当金推移】

(円、%)



4 今後の成長戦略

トータルパッケージ企業への改革

お客様のこだわりを
表現する

**包装資材の
総合パートナー**

段ボールを核に、その周辺の包装資材を取扱うトータルパッケージ企業として、お客様のこだわりをパッケージやラベルで表現し、スピーディに提供するパートナーとなることを目指します

お客様に頼りにされ
喜ばれる

**地域密着
オンリーワン企業**

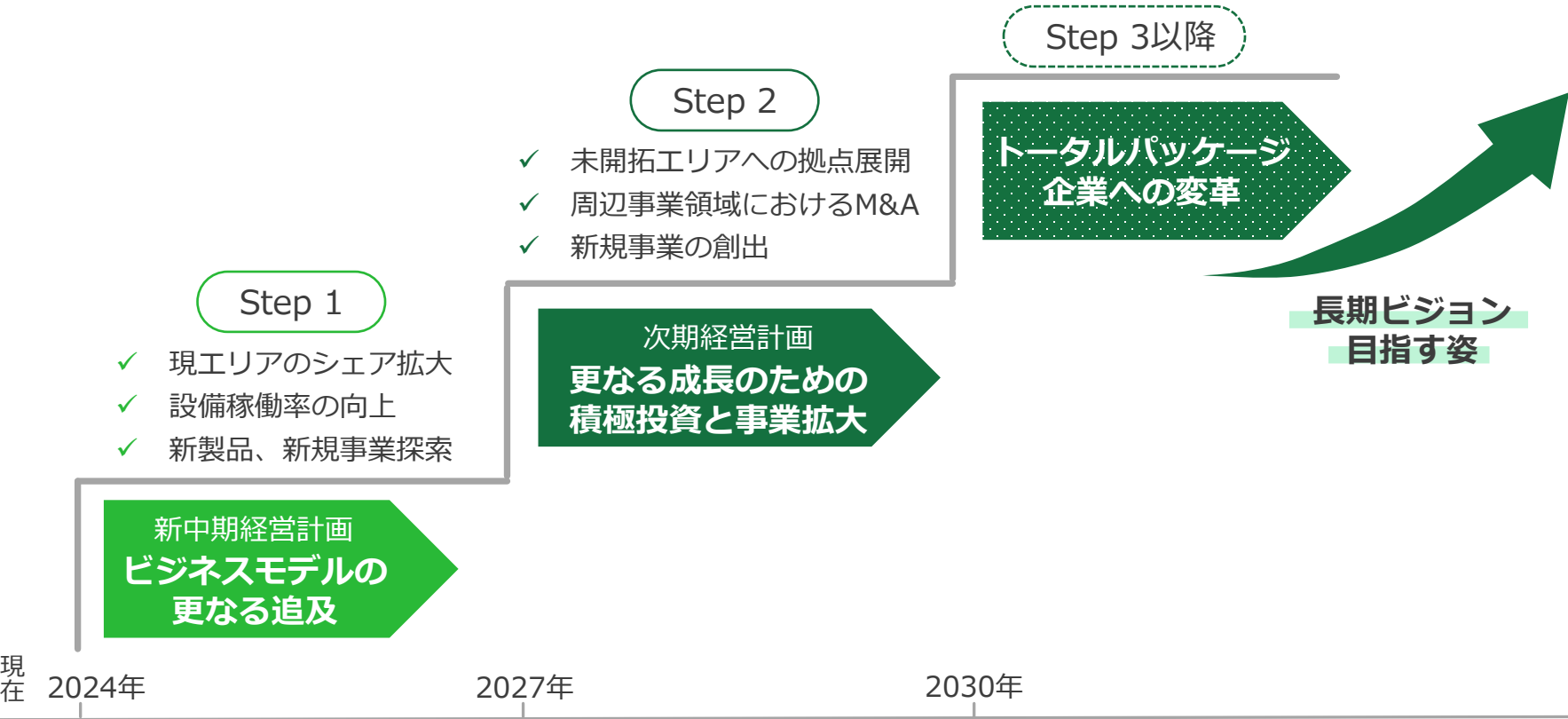
社員一人一人が**包装資材に関するスキル**を高め、お客様や社会に貢献することにより、**地域に根差した特色のある企業**となることを目指します

一人一人が
生き生きと

**より働きがいの
ある企業へ**

全社員の経営参画を通じて一人一人が**自己実現**でき、**社員満足度の高い職場環境**を実現します

トータルパッケージ企業への改革に向け、主力品目の基盤固めに注力し、持続的な成長を実現



基本方針

社員の成長と意欲を促す制度づくり

- ✓ 若手人材の採用
- ✓ 中途採用の積極化



- ✓ 社員の働きがいや満足度の向上
- ✓ 職能資格制度の見直し
- ✓ 給与制度の見直し
- ✓ 働き方改革

- ✓ 給与水準の底上げ
- ✓ 労働条件・就業環境の改善

次世代でも存続できる企業であるために、ESGの視点を踏まえた経営を推進し、企業価値向上につなげていきます。

企業価値向上

E 環境

資源循環への取組みを通じた環境
保護・脱炭素社会実現への貢献

【取組内容】

- ① 段ボール製品のリサイクルの推進
 - ・ 段ボール端材のリサイクル、再利用
 - ・ リサイクルマークの表示
- ② 段ボール製品のリサイクルの推進
- ③ 事業の省エネ化
 - ・ バッテリー式フォークリフトの導入等
 - ・ 燃料の天然ガスへの転換
 - ・ LED照明の積極導入



S 社会

地域との共生や
多様な人材の活用の促進

【取組内容】

- ① 地域社会発展への寄与や貢献
 - ・ 全工場での地域住民との交流
 - ・ 中学生対象の工場見学、職業体験
- ② 地元グリーンボンドの購入及び投資表明
- ③ 製造現場における外国人技能者の継続採用
- ④ 利益の社員還元による働く意欲の向上
 - ・ 賃金上昇や一時金としての還元



G ガバナンス

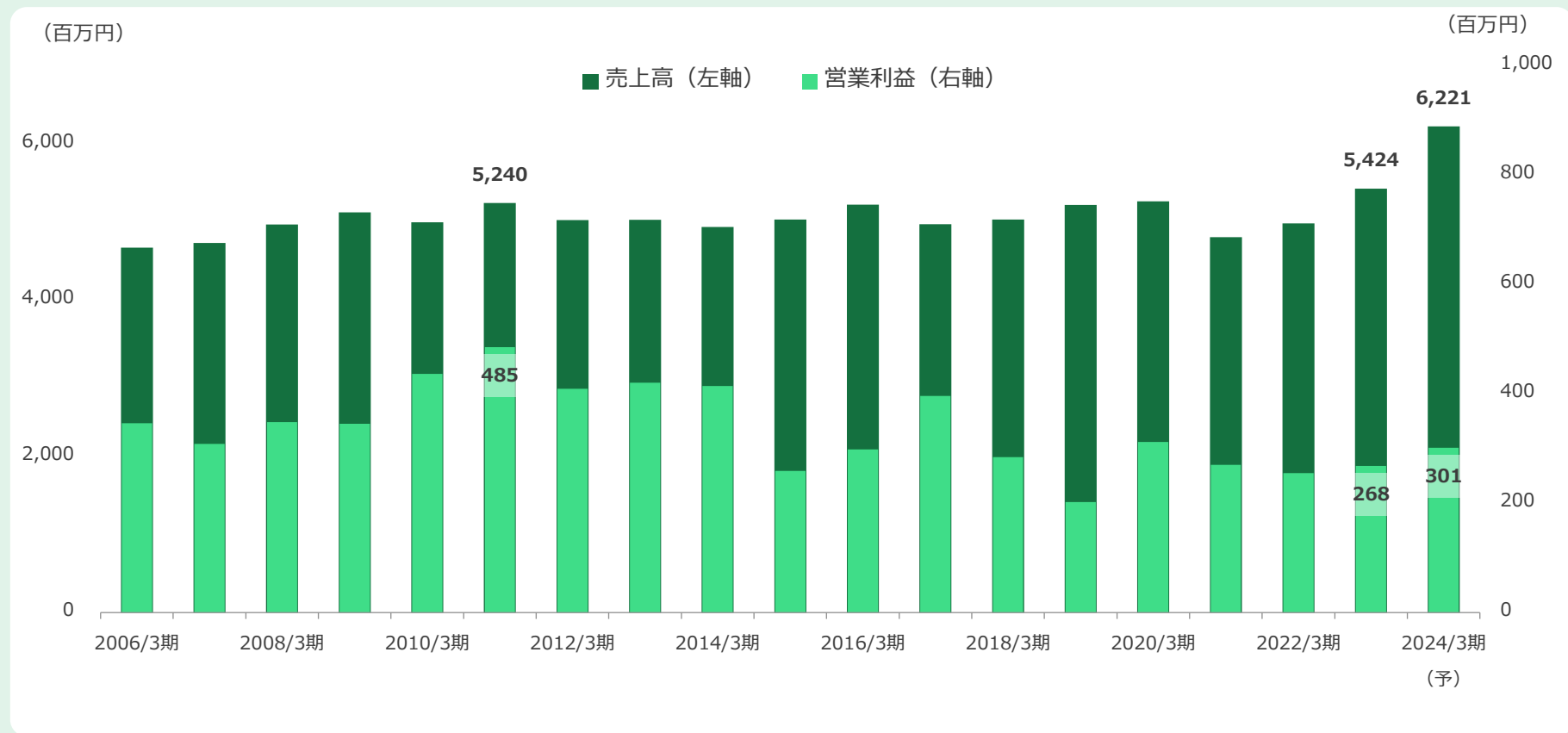
ガバナンス強化と
株主との対話の推進

- ① ステークホルダーとの接点強化のための
IR担当組織の設置と実施
- ② 取締役会の機能強化
(社外取締役比率の向上)



5 APPENDIX

売上高は、コロナの影響で一時的に足踏みも直近は増収基調で推移



ご清聴ありがとうございました

本資料および決算説明会で提供する情報のうち業績見通しおよび事業計画等に関するものは、当社が現時点で 入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果になりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行後、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新、又は修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、又これを保証するものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、目的を問わず、当社に事前の承諾なく複製又は転用することなどを禁じます。

【お問い合わせ先】

大村紙業株式会社

専務取締役管理本部長 八巻 和彦

e-mail : ir@ohmurashigyo.co.jp

TEL : 0467-52-1032 FAX : 0467-52-4738

ホームページ : <http://www.ohmurashigyo.co.jp>